

テーマ7 学校再編と特色ある学校づくり（7件）

7-1 【羽後町 40代】

2学級以下の学年が大半となるころでは、早期に統合再編を実施すべき。地域から学校がなくなることは損失かもしれないが、学校には一定数の児童生徒がいなければ、様々な活動を行うことが困難となる。中学校のみならず、高校も早期に統合しスクールバスを増加し、箱モノを増やしたり維持する費用を削減していく段階にあると思われる。

7-2 【大仙市 50代】

学校がなくなることによって地域が衰退するのではなく、地域がすでに衰退しているから学校が必要なくなるのだと私は考える。人数が集まらない学校は、昔は必要とされる学校だったけれども、時代の流れによって、今はその役割を終えようとしているのだと捉えるべきではないだろうか。なので、学校の再編を考えるときに、地域が衰退することを心配する必要はないと思う。学校はある程度の人数規模がなければ、非効率であるし、大きな活動もできない。個人医院ばかりあっても大きな病気は治せない。大きな中核的病院があるから、我々はある程度安心して生活することができる。中核的な学校を作るつもりで再編し、そこに入学した学生が、多様な価値観に触れてもまれ、成長する場になるように、県は再編を推進すべきだと思う。廃校は、地域の企業に貸すなどして、経済活動の発展に寄与する方向で再利用してほしい。

特色ある学校にする必要は感じない。すでに特色がある学校に学生は集まるし、特色が無いから、または以前の特色が時代の流れによって、その役割を終えたから、特色が無い学校であるように見え、学生が集まらなくなるのだと思う。あえて特色を作り出そうとしても、そうそううまく作り出せるものでもないだろう。今ある高校の特色をさらに伸ばす方向で、そうした高校の定員を増やすことに主軸を移して行くべきではなかろうか。

7－3 【藤里町 50代】

離島などで思い切った教育をして大人気になっている学校がある。我が県もすでに離島並み。私の町も義務教育学校になってしまった。なので、思い切って例えば「不登校」や「自分でカリキュラムを作る」とか振り切った学校にしては？隣には二ツ井小学校や中学校があるので、普通の教育を受けたい人は越境入学すれば良いので。寮のような民泊のような田舎留学して、のんびり勉強できる学校にする。空港も近いので都会からの短期田舎留学もありかと。もしかして大人気になるかもしれないので、教師陣はいいメンバーをそろえて。心理カウンセラーとかもいるといいかも。農作業や山歩きなど自然に触れることを多くするため、それらに詳しい方もいてもらおうとか。

表現が適切ではないとは思いますが、一意見として提出します。

7－4 【秋田市 30代】

座学系授業（小1～中3）を1年かけて撮影、プライバシー配慮（顔ぼかしや個人名部分のピー音など）でオンデマンド化。不登校生徒や病気の生徒などの自宅学習、通常生徒の予習復習を支援。オンライン教育で学習機会と地域の魅力を強化する。

7－5 【秋田市 30代】

通いたくなる学校作り、カリキュラムや風通しの良い環境とトラブルを未然に防ぐ体制を整え、問題発生時には公正かつ迅速な対応が必要になってきます。

7－6 【大仙市 40代】

閉校される小学校や中学校をフリースクールのような学校にし、自然の中で生きる力を身に付けられる特色ある学校理念を打ち出し、全国から不登校や引きこもりを呼ぶ。

7-7 【にかほ市 50代】

クリエーションを育む教育

私が子供のころは、知識を増やすことが教育だったと思いますが、今は想像力、発想力、解決力という言葉にあるような、自らアクションできる人材教育が必要だと思っています。未来を創造できる人材教育が望まれると思います。また、地方秋田でも、こんな素敵な仕事に就けるんだと感じるような職業環境も併せて成長させることも必要だと思っています。そのような戦略的な他県の動きとしては群馬県×クリエイターの動きが進んでいます。首都圏の仕事を地方でもできることを想定して、このような戦略的な県政が執り行われていると推測します。秋田には、クリエイターのイマジネーションに必要な静かで安らぎある環境があることを活かして、秋田発クリエイターが増えるような想像力豊かな教育を行い、一方で、クリエイターが集まるような環境整備も併せて行うような戦略的な教育環境を考えてみてはいかがでしょうか。